

第 2 分 科 会

家 庭 教 育

【新しいカタチ】

討 議 題 「親子で考える」予測困難な社会を生き抜く生きる力

討議の柱 1 固定概念を打破する新しい学びの場
2 新生活様式に対応した家庭環境作り

【討議題の趣旨】

教育の基盤となる家庭教育は、すべての出発点である。子どもにとって「家庭」は安らぎのある楽しい居場所、社会へ巣立っていくための大切な場所でもある。

かつて、子どもたちは、家庭や地域の生活の中で、あるいは子どもたち自身の社会集団や遊びの中で、必要な規範や行動能力を身につけてきた。しかし現在、新型コロナウイルス感染症の影響をうけて、社会環境が大きく変化し、これまであたりまえだった活動が、あたりまえじゃなくなり思うような活動ができなくなり、PTA活動自体の抜本的な見直しや、新たな実施手法の導入などに取り組む必要性を感じる。

そのような環境の変化の中で、これ以上活動を停滞させないためにも、PTA活動の意義を再確認するとともに、家庭教育の底上げを図り、固定概念に捉われることなく、時代に即した“新しいカタチ”の学びの場と、子どもたちが新生活様式に対応し、健全に成長できる家庭環境作りを共有する学び場としたい。

【討議の視点】

- 1 予測困難な社会だからこそ、新しいカタチで学びの機会、親(大人)の学びの充実。
- 2 児童生徒が心身ともに健全に育つために、感染症や災害等の困難な中でも、これからの生活様式に即した家庭観環境作りを考えよう。